

## 『ことばたんけんたい vol.1』支援のヒント

ページ	No.	ヒント
p.13 ～ p.15	no.20 ～no.22	<p>● ひらがなカードの使い方例</p> <p>カードは、よく似た音、よく似た字形を確実に識別してもらうために使しましょう。この2文字の識別不全が読み書き障害の最初の要因になるため、カードを以下の組み合わせにしてアクティビティを行うとよいと思います。</p> <p>例えば、「あ」と「め」の2枚を並べて、先生が「【あ】はどっち？」と聞いて、正しいほうを選んでもらいます。同様にすべてのペアで読み分け、聞き分けができるか実施します。また、「【あ】で始まることばは何がありますか？」などと使しましょう。</p> <p style="text-align: center;"> 「あ」「め」                      「き」「さ」                      「は」「ほ」  「ろ」「る」                      「い」「り」                      「た」「に」  「め」「ぬ」                      「あ」「め」                      「わ」「れ」  「ね」「れ」 </p>
p.41	no.48	<p>特殊音節には「拗音」「促音」「長音」「撥音」の4つとその組み合わせがあります。「きゃ」「しゅ」など、「き」と「や」、「し」と「ゆ」は単体では読めても、組み合わせると「きゃ」、「しゅ」となると、途端に困難になる子がいます。</p> <p>また特殊音は組み合わせも多いので、聞き分けと書き分けを苦手とする子が多いのです。</p> <p>● ひらがなカードの使い方例</p> <p>まず、特殊音のカードを並べておいて、「【きゃ】はどれ？」と言ってそこからカードを選んでもらいます。</p> <p>一通りできたら、pp.42-46のことばを先生が言って、聞き分けができるかどうかカードを並べてもらいます。</p>
p.49 ～ p.52	no.57 ～no.60	<p>「ろけっと」「ねくたい」「めろん」「れもん」などはカタカナ表記が一般的ですが、vol.1では、ひらがなの練習として出しています。語の意味を知らない場合は、絵や写真を示してあげてください。</p>
p.61 ～ p.70	no.69 ～no.78	<p>・「はんかち」「はぶらし」などはカタカナ表記が一般的ですが、vol.1では、ひらがなの練習として出しています。</p> <p>・例えば、「んばこく」は、「こくばん」の他にも「ばんこく（バンコク、万国）」のような答えも見つけられるかもしれません。文字に慣れ、語彙を増やすことがねらいですから、気づきや発想を褒め、適宜、説明を加えてあげてください。</p>

ページ	No.	ヒント
p.76 ～ p.77	no.84 ～no.85	促音は1拍であることに注目させます。手拍子や机をタップしながら読むのもよいでしょう。声に出して読んだら、「っ」のある表記のほうを選んでいるか確認してください。 日本語の拍（モーラ）の感覚に慣れるように支援しましょう。
p.78	no.86	長音は1拍であることに注目させます。手拍子や机をタップしながら読むのもよいでしょう。 このページは下記の長音を取り上げています。 「あ段の仮名+あ」 = -aa 「い段の仮名+い」 = -ii
p.79	no.87	このページは下記の長音を取り上げています。 「う段の仮名+う」 = -uu 「え段の仮名+え」 = -ee
p.80	no.88	このページは下記の長音を取り上げています。 「お段の仮名+お」 = -oo
p.81	no.89	このページは下記の長音を取り上げています。 「え段の仮名+い」 = -ee * 「-ei」と読まない。「えいが」は「エーガ」と発音する。
p.82	no.90	このページは下記の長音を取り上げています。 「お段の仮名+う」 = oo * 「-ou」と読まない。「ぎんこう」は「ギンコー」と発音する。
p.83	no.91	⑧「とおい」、⑨「こおり」は、no.90の法則と異なります。絵（意味）・音・文字を結びつけて覚えられるように、声に出しながら問題に取り組んでみましょう。

### ひらがなカードの使ったアクティビティの例

（\*同じ文字を複数必要とする場合は、該当のPDFを適宜、複数枚プリントアウトして用意してください。）

**Activity 1** 五十音表のところどころに空白の枠のカードを置いておき、該当のひらがなカードを置く

**Activity 2** カードを並べて、自分の名前をつくる

**Activity 3** カードを並べて、学校名、担任の先生の名前、校長先生の名前などをつくる

**Activity 4** 先生が子どもになじみのある地名・町名などを言って、子どもはそれを聞いてカードを並べる

**Activity 5** 先生が pp.76-83 のことばを言って、子どもはそれを聞いてカードを並べる

**Activity 6** 複数の子どもがいるなら、**Activity 4** **Activity 5** の先生役も子どもがして、順番に交代していくと楽しい